✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

✧　新予報技術講習会が開催されました

平成 23 年度新予報技術講習会「季節予報コース」が 6 月 15 日に開催されました。今回の講習は「大気海洋結合モデルを用いた季節予報」と題して、気象庁気候情報課高山予報官に講師を務めて頂きました。

まず、新平年値の発表により季節予報にどのような影響が現れるか、気温や降水量などについて解説していただきました。「高い」、「並み」、「低い」の階級区分が新旧平年値で異なる場合があるなど、最近 10 年間の高温が与える影響を具体的に示した解説もありました。

本論の大気海洋結合モデルが季節予報に大きく貢献している解説では、基本的な事項についてもやさしくわかり易く解説され、速度ポテンシャルや流線関数の意味がやっと分かったなどの感想も聞かれました。最後にこの夏の予測についての解説で締めくくりました。熱心に受講された 18 名の受講者は数多くの質問をしましたが、快く応える講師に大満足で、一層理解が深まったものと思います。

（気象業務支援センター　振興部）